

幾多郎と大拙

億劫相別れて須臾も離れず

億劫相別れて須臾も離れず

2026 9/29(火) - 2027 3/22(月・祝)

<関連イベント>

講演会 10月24日(土) 10:00~11:30

娑婆が浄土を映し、浄土が娑婆を映す

—幾多郎と大拙、最後の交流—

鈴木大拙が西田へ謹呈した『浄土系思想論』(1942年刊行)。西田哲学館で新たに見つかった謹呈本の書き込みを元に、ふたりの思想的関係について新たな視点で論じる。

【講師】鈴木亮三(哲学館研究員)

【会場】哲学館 哲学ホール 【参加費】無料、申込不要

書齋「骨清窟」公開 11:30~12:00 ◎雨天、強風の場合中止

普段はガラス越しの見学となっている書齋のテラス扉を開放いたします。(入室は不可)

オンラインでの視聴も可能です。

※アーカイブ配信はありません。

右記二次元コードより
申込フォームにアクセス
してお申し込みください。



もう五年でも十年でも生きて
もつといろく書きのこし玉へ、
新らしい時代又いろくの人ができるだらうか
我々時代の様な人は又でないだらう

鈴木大拙宛西田幾多郎書簡 一九四四(昭和一九)年十二月十四日

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1

TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320

URL <https://www.nishidatetsugakukan.org/>

E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

■facebook / Instagram でも関連情報を随時更新しています。



観覧時間 ■ 9:00 ~ 17:00 (入室は 16:30 まで)

休館日 ■ 月曜日 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 (12月28日~1月4日)

観覧料 ■ 一般 300円 (団体 250円・20名以上) / 65歳以上 200円

／高校生以下無料 障害者手帳をお持ちの方および介助者1名無料

交通アクセス

【車利用】北陸自動車道 [金沢東IC] - 国道159号線 (約20分)

のと里山海道 [白尾IC] - (約5分)

【JR利用】金沢駅 - JRいしかわ鉄道線・七尾線 (約25分) - 宇野気駅 -

- 徒歩 (約20分) - 哲学館



幾多郎と大拙

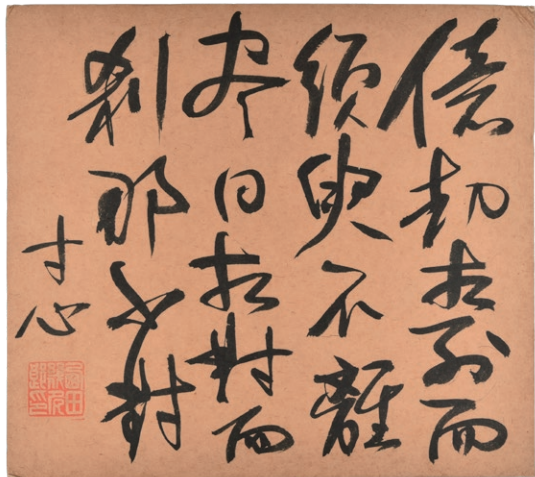
おくごうあいわか しゅ ゆ
—億劫相別れて須臾も離れず—

2026

9/29(火)

2027

— 3/22(月・祝) —



西田幾多郎書

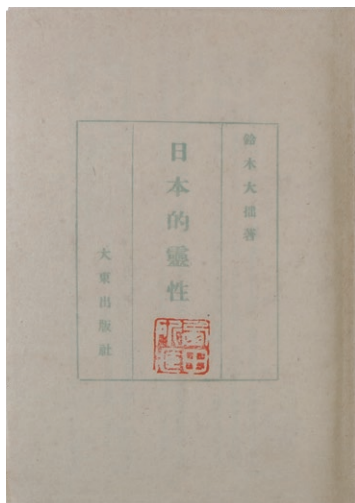
「億劫相別而須臾不離 尽日相对而刹那不对」

億劫相別れて須臾も離れず

(おくごうあいわかれてしゅゆもはなれず)※

西田幾多郎が最後の完成論文「場所的論理と宗教的世界観」において何度もひいている大燈国師のこの語は、相別れて一瞬も離れなかった西田幾多郎と鈴木大拙、ふたりの関係性をよく示しています。幾多郎最期の数年間、ふたりはそれまで以上に思想的な影響を強く与え合いました。戦時中になんとか世に出した著書を互いに贈り、頻繁に意見を交換しています。95歳で亡くなった鈴木大拙の没後60年を記念する本展では、大拙が幾多郎に謹呈した著書を中心に紹介しながら、濃密なふたりの最後の交流と幾多郎没後の大拙をみつめます。

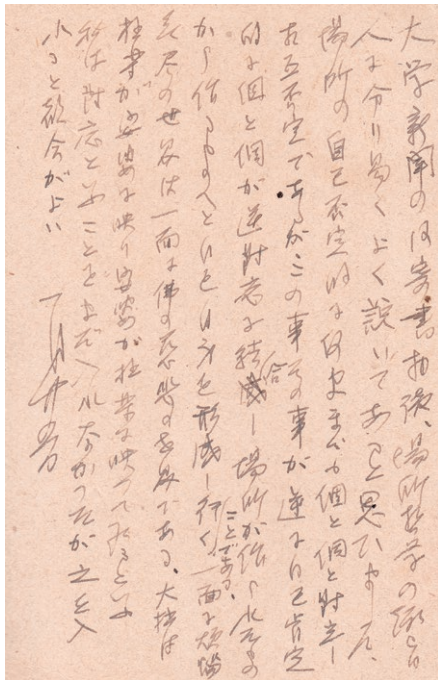
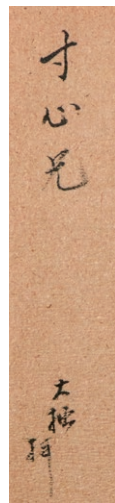
※「億劫相別而須臾不離 尽日相对而刹那不对」
無限に長いあいだ別れていながら一瞬も離れず、一日中相對していながら一瞬も對することがない。



鈴木大拙著、西田幾多郎への謹呈本『日本の靈性』

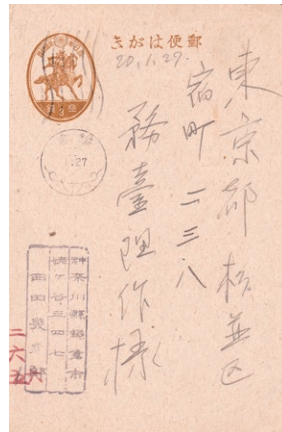
1944年12月

(西田幾多郎博士記念館〔学習院寸心荘)蔵)



務台理作宛西田幾多郎書簡

1945(昭和20)年1月25日(個人蔵)



西田幾多郎直筆原稿

「場所的論理と宗教的世界観」

1945年



鈴木大拙著、西田幾多郎への謹呈本

『浄土系思想論』1942年12月

